



Enterprise2.0 アプリを支える クラウド基盤としてのWindows Azure

XMLコンソーシアム Web 2.0 部会 日立ソフト 宮崎 昭世

Microsoft MVP for Development Platforms - ASP/ASP.NET

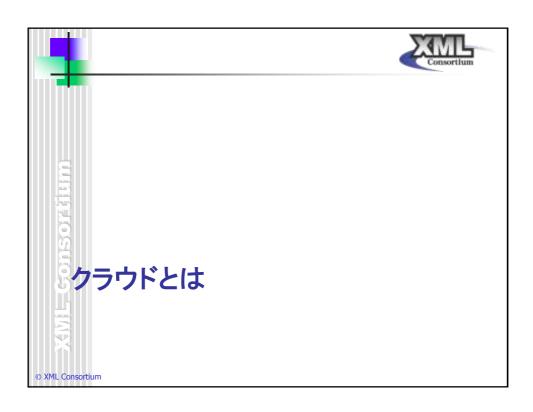
© XML Consortium

Agenda

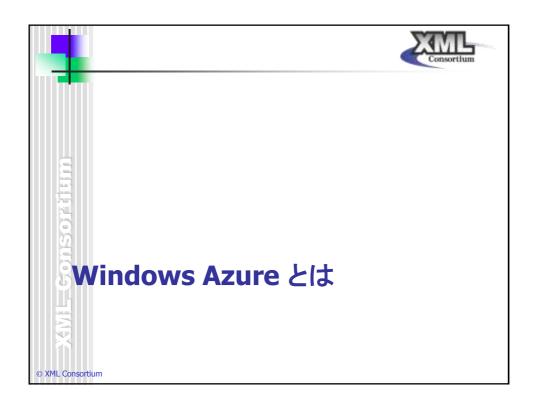


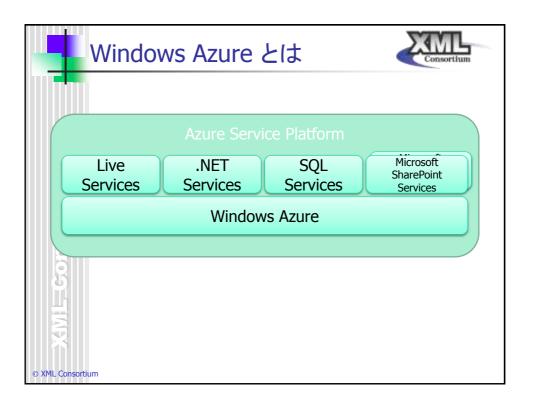
- クラウドとは
- Windows Azure とは
- Windows Azure 開発環境
- Windows Azure の開発
 - Fabric
 - Storage
- まとめ

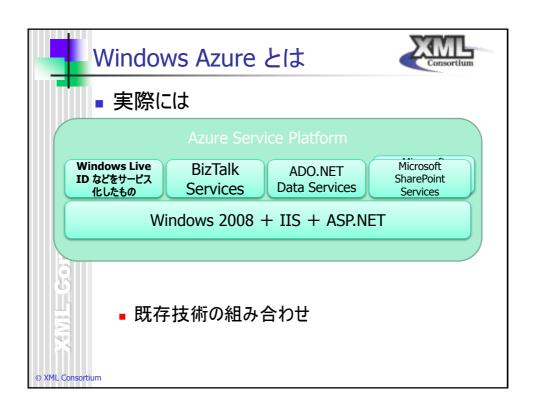
© XML Consortium

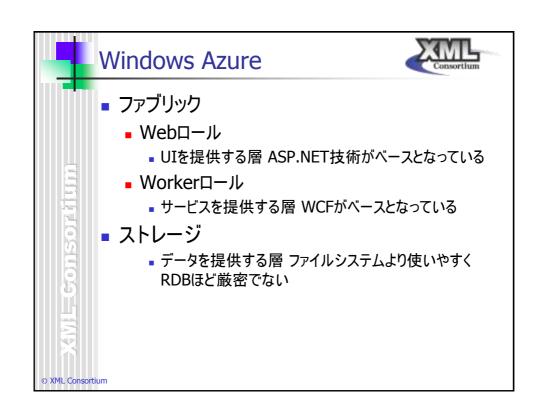














Live Services



- Windows Live で提供されているサービスを Azure で利用可能とするための仕組み
- イチオシ機能は Live Mesh ?
 - データをクライアント・オンプレミス・クラウド間で同期しより効率的にサービスを利用するための基盤
 - Microsoft Tech Days 2009のキーノートでの 英 BBC の iPlayer のデモが参考になる

© XML Consortium

WATE CONSOLUTION

.NET Services



- 企業内のシステムをクラウドから利用可能にするためのサービス
- クライアントとなる側からリクエストをキューに登録し、キューに登録されたリクエストをサーバとなる側が取り出して処理を行う
- 内部的には下記3機能で構成される
 - サービスバス
 - サービスをクライアントから利用可能とするためのディレクトリサービス
 - リクエストのキューを管理するサービス
 - アクセスコントロールサービス
 - トークンによるアクセスコントロール行うサービス
 - アカウント管理は別システムでも可能
 - ワークフローサービス
 - 複数のサービスを呼び出す場合の制御を行うサービス

© XML Consortium



SQL Services



■ SQL Server をベースとして作られたデータスト

- ただし、現状は SQL Server とは異なり RDB で はなく、キーと値のペアが格納されるもの
- データの保持も分散化されるため完全なASID特 性が確保されるわけではない
- 将来的にはADO.NET Data Servicesの機能を 取り込んでいく模様
- アクセス方法はSOAPまたはRESTFulが利用可能
- データの検索方法はLINQ

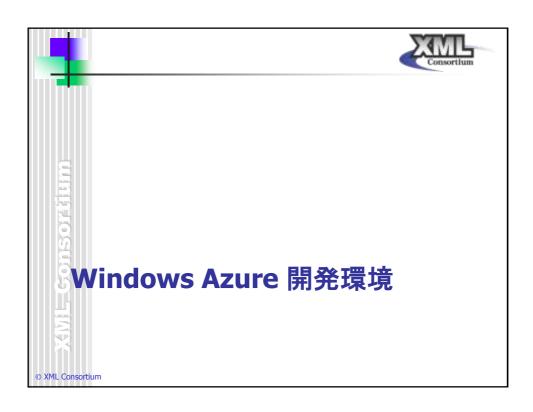
XML Consortium

SQL Data Service の今後



- Relational モデルをサポート
 - SQL Data Services Team Blog: The no spin details on the new SDS features
 - http://blogs.msdn.com/ssds/archive/2009/03/1 0/9469228.aspx

ML Consortium









- 現在 2009年3月CTP 版が提供されている
 - Windows Azure Software Development Kit
 - http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx? FamilyID=b44c10e8-425c-417f-af10-3d2839a5a362&DisplayLang=en
 - Windows Azure Tools for Microsoft Visual Studio
 - http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx? FamilyID=59e8fc0c-c399-4ab7-8a93-882d8e74b67a&DisplayLang=en
 - Microsoft .NET Services SDK
 - http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx? FamilyID=8d1d1d5e-1332-4186-b33f-26d053759e49&DisplayLang=en

© XML Consortium

